

<枚方市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

小学校

- ・19 中学校区のうち 3 中学校区が枚方市の**図書館教育の研究指定校**になり、各校区に 1 名の司書の配置を受けている。
(中学校での勤務を基本とし、小学校での勤務は校区ごとに決定)

中学校

- ・公共図書館から図書の団体貸し出しを行っている。
- ・中学校区に学校司書を配置している。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

枚方市小学校図書館教育研究会

- ・年間 1 回、独自の研修会を行う
- ・今年度は枚方市立中央図書館職員を講師に「枚方市立図書館と小学校図書館との連携」に関する研修会を実施した。(会場：枚方市立中央図書館)

枚方市中学校図書館部会

- ・活動 年間 4 回
廃棄図書の選定
中学校の図書室の見学
各中学校の図書館業務に関する情報交換
公共図書館との連携事業

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・小学校数校がバーコードでの貸し出し管理を行っている。

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

中学校

- ・2015 度より、**枚方市学校図書館充実事業**を実施。
目的は、市内 3 中学校区に学校司書を配置し、学校図書館の整備と読書活動の充実を図る。
- ・3 中学校では、公共図書館とオンラインで蔵書閲覧が可能

<四條畷市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- ・図書購入費（小学校：385～857 千円
中学校：715～816 千円）学校規模に応じて
- ・各小中学校に学校司書免許を持つ図書担当者が 1 名以上配置（専任教諭はいない）

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

四條畷市学校図書館協議会

構成

各小中学校から 1 名（小 7、中 4）の 11 名
市立図書館から 3 名
管理職から 2 名

活動

- ・図書館運営について
- ・全校読書の実施について
- ・市立図書館からのお知らせ
- ・学校図書館実態調査
- ・読書感想文コンクールについて
- ・読書感想画コンクールについて

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・一部の小中学校でコンピュータ化実施
- ・市レベルで全小中学校のコンピュータ化とネットワーク化の構想はある。

<寝屋川市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- ・本年度、**寝屋川市子ども読書活動推進計画策定委員会**が開催されている。

小学校

- ・図書購入費を支給されている。各校で司書免許を持った教員に口頭発令を行っている。

中学校

- ・毎年図書費を支給されているが、充分ではない。
司書も配置されず、各校で司書免許を持った教員がそれにあたる。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

小学校

- ・図書館研究会等の活動は特に行ってない。
- ・各校で地域ボランティアに来ていただき、読み聞かせ活動を行っている。

中学校

- ・年間を通して、図書館研究会等の活動はない。
- 各校で生徒会委員活動や地域ボランティアを活用した活動を行っている。

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・半数の学校で、コンピュータ管理をしている。

5. 各市町村の学校図書館に関して、特徴的なこと

小学校

市の図書館が各校に図書の貸し出しを行っている。(希望制)

<門真市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

学校図書館司書については、27年度1名増員され、合計4名で、市内小・中学校8校へ配置されている。学校図書館司書については、市教育委員会が学期に1回連絡会を開催し、情報交換等を行っている。

また、市立図書館との連携も進めている。

司書の配置のない学校図書館には、図書担当者や司書教諭が中心となって、学校図書館の運営を行っている。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

市として学校図書館関係の組織は現在のなし。

3. 各市町村の学校図書館の具体的な活動例

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

速見小学校と門真はすはな中学校の2校のみ、データ管理されている。

使用しているソフトは、「探調ツール」で、MARICについては、市立図書館と合わせた形で、「日版マーク」を使用している。

5. 各市町村の学校図書館に関して特徴的なこと

本市の小学校14校のうち、これまで、3校の図書館について専門家による図書館リニューアルを実施し、子どもたちの本に対する興味関心が高まるような書架の配置や室内装飾、選書、図書ラベル等の工夫がされている。

また、門真はすはな中学校については、開校する段階から専門家による図書館づくりを行い、本市のモデル的な学校図書館になっている。

<交野市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- ・学校司書は市全体で3名おり、4校（1校あたり週2～3日）に学校司書が配置されている。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

交野市学校図書館協議会（役員会・運営委員会）

- ・役員選出・活動計画等
- ・学校図書館実態調査
- ・大阪府青少年読書感想文の交野地区審査
- ・情報交換・本年度のまとめ

3. 学校図書館の具体的な活動例について

- ①図書ボランティア（保護者・地域等）を組織し、学校図書館の環境整備、図書の貸出・返却、読み聞かせなどを行う。
- ②学校司書が配置されている学校では、市図書館との連携が進み、調べ学習では教員のオーダーを受け、市図書館の蔵書を活用している。
- ③「子どもに読ませたい100冊の取組（読書マラソン）」を行うなど、読書活動の充実を図る。
- ④各小学校で読み聞かせの活動として、「お話し会（地域ボランティア）」「読書会（市図書館司書）」などを行う。

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・平成25年度よりコンピュータ化がスタートし、今年度までに市内小・中学校全14校中、11校がコンピュータ化された。次年度で、市内小・中学校全14校がコンピュータ化される予定

5. 各市町村の学校図書館等の取り組みについて

- ・市が「本の森プロジェクト」として、幼児期の読書習慣、学校図書館の活用、子どもたちの成長に応じた読書指導のほか、地域の図書ボランティア・各種団体による絵本を通じての読書活動の活性化など、市民参加型事業を行う。

<大東市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

小学校

- ・月2回、市立図書館から派遣していただき、本の貸し出し業務や整理をしてもらっている。
- ・学校規模に応じて毎年図書購入費

中学校

- ・平成25年度より夏休み中に市内中学校の担当者の連絡会が持たれるようになった。
- ・27年度は1校のみ司書が配置された。29年度より拡大配置の予定。
- ・学校ごとに大東市より「図書購入予算」が配当されている。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

中学校

- ・市内8中学校のうち、非常勤講師の担当者がいるのは5校であり、残りの3校は時間的な措置もなく交替などで運営している。
- ・図書室の運営は（本の整備、発注、管理）や読書環境づくりは非常勤講師が行っています。
- ・生徒の図書委員会の指導は委員会担当教諭が行っている。

3. 各市町村の学校図書館の具体的な活動例

中学校

- ・四条中学校は数年前に文科省の読書優良校であり、大阪府の研修会で報告を行った。（四条中学校 青木先生）
- ・平成25年度研究大会（近畿）、平成24年度（大阪市、大阪府の研修会で主に「図書館クイズ」に関する報告を行った（住道中学校 津田先生）
- ・本の貸し出しも大切であるが、調べ学習もより多く取り入れるようにしている。
- ・昼休みの図書館の開館
- ・貸し出し数が増えるための生徒への興味・関心

づけの工夫

- ・図書館が生徒にとり心が安らく魅力的な空間であるような努力

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

小学校

- ・コンピュータ化し、図書をバーコードで管理（貸し借りも含めて）している。

中学校

- ・TRCから図書を購入しているため装備、MARCCを使用している。
- ・蔵書管理は探調ソフトを使用している。
- ・「OEC学校図書館システム探調TOOL」によってコンピュータ化されている。またこのソフトによって年1回蔵書点検を行っている。購入図書のデータを「TOOL i-s」によりダウンロードし、上記ソフトに取り込んで使用している。

5. 各市町村の学校図書館に関して、特徴的なこと

中学校

- ・教職員（事務員、校務員さんも含む）も本を借りてよく読まれるので割に幅広い蔵書の内容になっている。
- ・地域・保護者にも開放している。

<守口市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- ・図書館司書（有償ボランティア）を各中学校区に1名配置している。（8中学校区）

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・一部コンピュータ化している学校もあるが、紙媒体での管理が多い。